

2年 単元名「大谷ハチドリ計画（大谷の海）」（9時間）

1 単元設定の理由

学区のある気仙沼市本吉町大谷地区は、山や森、海、田んぼといった豊かな自然に囲まれ、地域の人々は昔からその自然を生かして生活を営んできた。大谷地区に暮らす子どもたちにとって、地域の自然を守り、これからも受け継いでいこうとする気持ちを育てていくことは大切なことである。本校の取組は、気仙沼市で進めている ESD や海洋教育の取組とも合致するものであり、本単元も関連性を持たせて設定している。

2 単元目標

- ・大谷の海についての自己課題を設定し、主体的に情報を活用する方法を習得する。
- ・課題の見つめ方や探りに工夫を凝らし、学び方を自分のものにする。
- ・他者と協力して活動に取り組む力を育てる。

3 単元の評価基準（抜粋）

- ・様々な体験や講話などから、疑問や問題点を見つけている。
- ・取り組んだ結果を発表原稿やプレゼンにまとめている。
- ・積極的、主体的に粘り強く取り組んでいる。
- ・自分の取り組んだことから、更に新しい課題を見出している。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1 2	環境講話 「気仙沼地方の地質について」 講師 気仙沼市鹿折公民館長 ・ジオパークに指定された地域の海岸の地質や、気仙沼地域の地質について、講話から学ぶ。 ・海岸で採取された石灰岩の特徴を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・石灰岩の実験は薬品を使用するので、十分に注意する。 ・気づいたことなどは、ワークシートに記入させる。
3 4 5	魚つき保安林（松林）下草刈り ・地域の方から、魚つき保安林の大切さについて学ぶ。 ・下草刈りの作業を通して、地域の環境を自分たちで守っていかうとする気持ちを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校外での活動であり、鎌も使用するため、安全に十分配慮する。 ・熱中症に十分注意する。
6 7	ウニの生息調査採取・観察 ・地域の海岸で磯焼けの原因となっているウニの生息調査を行う。数や大きさなどを現地で調べ、データをまとめる。 ・理科室でウニを解剖し、器官などを観察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸での活動には十分注意する。 ・地震や津波に備え、避難経路を周知しておく。 ・調査の方法などは、事前に指導する。
8	環境講話 「磯焼けについて」 ・東北大学の吾妻先生の講話から、磯焼けについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことはメモを取らせる。
9	環境講話 「地域の環境について」 ・学校周辺で観察できる鳥類や水生生物、植物、水田周辺の水質などについて、外部講師の方々から学ぶ。 ・ワークショップ形式で、生徒たちが興味のある内容をそれぞれ学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の学習内容が、自分の研究分野とできるだけ関連付けられるようにする。
外部連携 / 教材等 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師として、東北大学の吾妻行雄先生をはじめ、専門家の方々を依頼した。 ・公民館との協同教育や、公民館を通しての地域連携も行った。 ・観察の際に、拡大顕微鏡の画像をプロジェクターに映し、生徒の興味を喚起した。 ・地域のウニや学校周辺の生き物など、地域の教材を活用している。 		